

# 大原中だより

さいたま市立大原中学校  
TEL 048-831-5397  
FAX 048-835-1357  
**第 2 号**

**はつらつとした学校、地域に輝く学校**

令和元年 5月 7日 (火)

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

## 『 やり抜くべきことを 真剣にやり抜ける 大原中生になろう ! 』

校長 小林 広利

先日、皆さんには「校長先生の心の授業」を学年ごとに受講してもらいました。真剣に聞いていただいていたうれしかったです。主題は「10代のうちに気づき、実践したいこと」。すべて大切なことですが、ここで、いくつかの内容を振り返ってみたいと思います。

### 「4. 自分で判断し責任をもつ」

人生は、選択の連続です。右のコースと左のコースのどちらかを選ばなくてはならない瞬間が人生には存在します。例えば、中学一年生の皆さんは、部活動の選択でA部とB部のどちらに入ろうか迷った人はいませんか。A部を選べば、当然B部には入れません。後から、転部もできるかもしれませんが、この時点ではどちらかを選び、部員としての生活が始まります。もしB部だったらというパラレルワールドは存在したかもしれませんが、選択したのはA部なのです。このような選択は生活の中でたくさんあります。大切なことは、自分で判断しその結果についても自分で責任をもつことです。

### 「8. 一週間 とにかく頑張ってみる」

何か目標をもってやり抜こうとしたとき、とにかく一週間は頑張ってみましょう。好きでも価値が薄いと感ずることはやめて、目標に向かい、まずは行動するのです。一週間、やり抜いた結果がダメだったとしても、必ず自分の成長につながります。頑張らなかつたがうまくいった。これが続くと成長にはマイナスです。とにかく一週間はやり抜ける自分をつくれば、一カ月・半年・一年と徐々に長くやり抜ける自分をつくることができます。テスト前・大会前・発表会前など、まずは一週間、真剣にやり抜いてみてください。

### 「9. どうせやるなら・・・！」と「10. 失敗してよかった！」

事実の一つ、考え方は二つ。どちらを選ぶかで人生の流れは変わります。パラレルワールドのどちらの人生を進むかを決めるのは自分自身です。例えば、授業を受けるのなら、少しでも自分に役立つ知識や考え方を吸収しようとするのか、50分の授業を聞き流すのか。最後はあなたが決めることです。チャレンジすれば失敗もします。失敗にくよくよしてばかりいるのか、前向きにとらえなおすのか。最後はあなたが決めることです。その結果が見えてくるのは、数カ月後でしょう。もしかして、もう少し先の将来かもしれません。失敗することやできないことがあることは、恥ずかしいことではありません。世界のすべての成功者は、できないことや失敗がなかったのではなく、間違った考え方をすることがなかったのです。そのことを、10代のうちに気づき、すぐに実践してほしいと願っています。

### 10代のうちに気づき、実践したいこと

#### 1. 6つの行動目標は人生を切り拓くカギ

#### 2. 人生が豊かになる「3つの法則」

- ① 感謝の法則
- ② あいさつの法則
- ③ 勇気の法則

(別名: ごめんなさいの法則)

#### 3. 自分を好きになることが大切

#### 4. 自分で判断し責任をもつ

#### 5. やり抜く力(やる気)を常に意識する

#### 6. やる気スイッチを使ってみる

- ① できると信じる (小さな目標を立てる)
- ② 身体を動かす (まずはやってみる)
- ③ アウト・プットする  
(書く、説明する、発表する、声に出す)
- ④ 報酬を得る (達成の喜びを知る)

#### 7. 成長の喜び、汗をかく快感を知る

#### 8. 一週間 とにかく頑張ってみる

#### 9. どうせやるなら・・・！

#### 10. 『失敗してよかった!』と考える